

2023年度 事業報告書

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月 31日

目 次

I. 一般概要	1
II. 事務報告	2
1. 基本財産	2
2. 会 議	2
(1) 評議員会の開催	2
(2) 理事会の開催	2
(3) 評議員選定委員会の開催	3
(4) アドバイザリー会議の開催	3
3. 事務局機構	3
4. 届出・登記事項	3
III. 事業報告【公益目的事業】	4
1. ゲートボール再生プロジェクト（日本財団助成事業）	4
(1) 新たなゲートボールファン拡大に向けた普及活動の創出	4
(2) 組織強化〔日本財団助成事業〕	5
2. 普及及び振興	6
(1) 人材育成	6
(2) 日本発祥スポーツとしての海外普及（日本財団助成事業）	7
3. 全日本選手権大会及びその他の競技会の開催	7
(1) 全国大会の開催（助成事業）	7
(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への開催支援	9
4. 国民体育大会の実施	9
(1) 特別国民体育大会〔公開競技〕ゲートボール競技会	9
(2) 特別国民体育大会〔公開競技〕ゲートボール競技会 地域予選会	10
(3) 2024年度以降の国民スポーツ大会の開催準備	10
5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考及び派遣、並びに外国チームの招聘 ..	11
(1) アジアゲートボール選手権大会の開催（日本財団助成事業）	11
(2) 国際大会・交流会等への日本チームの派遣（日本財団助成事業）	11
(3) ワールドマスターズゲームズ 2027 関西の開催準備	11
6. 競技規則に関すること	11

7. 指導者の養成	11
(1) 指導者研修会の実施（日本財団助成事業）	11
(2) JSP0 公認ゲートボール指導者（コーチ1）の養成	11
8. 審判員の養成及び認定	14
(1) 審判員資格の試験、登録、並びに登録更新の実施	14
(2) 国際審判員資格の試験、登録、並びに登録更新の実施	15
(3) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）	15
9. ゲートボール器具・用具の研究開発及び認定	19
10. ゲートボールに関する刊行物の発行	19
11. 功労者等の表彰	19
12. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	19
(1) 各種ゲートボール大会への後援協力等	19
(2) ゲートボール活動における事故予防・防止に向けた啓発活動等	19
(3) アンチ・ドーピング教育・啓発活動	22
(4) 広報	22
(5) 会員データシステムの整備	22
(6) 寄付金・賛助金及び協賛企業等の募集	22
(7) 国際ゲートボール組織の事務局業務の受託	22
【参考：各種名簿等】	23
別表第1 評議員：任期4年（8名以上15名以内）	23
別表第2 理事：任期2年（8名以上15名以内）	23
別表第3 監事：任期2年（2名以内）	23
別表第4 事務局組織図	24
別表第5 2023年度 日本連合主催全国大会等	24
【2023年度事業報告における附属明細書】	25

I. 一般概要

公益財団法人日本ゲートボール連合（日本連合）は、日本発祥のスポーツ「ゲートボール」の普及をつうじて、世代や地域を超えたコミュニケーションの促進を図り、人々の心身の健全な発達、明るい生活・活力ある社会の実現及び国際社会の調和に寄与することを目的に、各種事業を積極的に展開しています。

2023年度の全国大会については、すべての大会を開催しましたが、会員数の減少や選手の高齢化が進み、大会会場への移動手段などに支障をきたすなどの理由から大会を棄権するチームが見られました。

再生プロジェクト事業では、すでに授業・ゼミなどで取り入れている大学においては、今年度も継続した活動を実施しました。

また、既成概念にとらわれないニュー・ゲートボールの開発においては、アウトドアフェスなどの会場に「アウトドアスポーツ体験コーナー」を設け、若者やファミリーをターゲットとした実践調査を行いました。

今後も2023年度の成果を確実に育てつつ、刻々と変化する状況に柔軟に対応しながら、すべての世代に浸透するスポーツ、また誰でも気楽に楽しめるレクリエーション的要素を持ち合わせたアウトドアスポーツの研究開発をしていきます。

なお、事業の実施にあたり、日本連合は、都道府県加盟団体をはじめ、関係行政機関、関係団体と協調しています。特に、日本財団をつうじて貴重なボートレースの収益金の一部を支援いただき、各事業の拡充に努めました。

II. 事務報告

1. 基本財産

2024年3月31日現在の基本財産は1億円である。

※財務諸表では債券が時価評価となり、期末の基本財産は、94,511,400円となっている。

2. 会 議

日本連合の事業遂行のため、評議員会及び理事会を以下のとおり開催し、事業遂行の重要案件を審議した。

(1) 評議員会の開催

1) 2023年度定時評議員会

- ① 開催日時：2023年6月22日（木）13：30～15：05
- ② 開催場所：東京都港区 日本財団第二ビル 2階会議室
- ③ 出欠者：出席評議員4名、ウェブ出席評議員3名、欠席評議員4名、出席監事2名
- ④ 審議事項
第1号議案 2022年度事業報告並びに財務諸表の承認に関する件

(2) 理事会の開催

1) 第37回理事会

- ① 開催日時：2023年6月8日（木）14：00～15：05
- ② 開催場所：東京都港区 日本財団第二ビル 2階会議室
- ③ 出欠者：出席理事3名、ウェブ出席理事4名、欠席理事4名、出席監事2名
- ④ 審議事項
第1号議案 2022年度事業報告並びに財務諸表に関する件
第2号議案 規定の一部改正（案）に関する件
第3号議案 2023年度定時評議委員会の開催に関する件

2) 第38回理事会

- ① 開催日時：2024年3月8日（金）13：59～15：32
- ② 開催場所：東京都港区 日本財団第二ビル 2階会議室
- ③ 出欠者：出席理事5名、ウェブ出席理事5名、欠席理事1名、出席監事2名
- ④ 審議事項
第1号議案 組織規程の一部改正に関する件
第2号議案 世界ゲートボール連合並びにアジアゲートボール連合の業務受託に関する件
第3号議案 2023年度資金調達及び設備投資の見込みに関する件
第4号議案 2024年度事業計画並びに収支予算等に関する件
第5号議案 評議員選定委員会委員の選任に関する件

(3) 評議員選定委員会の開催

開催なし

(4) アドバイザリー会議の開催

再生プロジェクトにて本会議を含めた組織再編を協議していることから、開催をみあわせた。

3. 事務局機構

2024年3月31日現在の事務局機構は、別表第4（24ページ）のとおり2部4課であり、職員7名である。

4. 届出・登記事項**① 内閣府への届出**

事業報告、主たる事務所の変更（定款、評議員退任）、事業計画 2件

② 日本スポーツ協会への届出

事業計画、事業報告等 2件

③ 日本レクリエーション協会への届出

事業計画、事業報告等 2件

Ⅲ. 事業報告【公益目的事業】

1. ゲートボール再生プロジェクト

(1) 新たなゲートボールファン拡大に向けた普及活動の創出（日本財団助成事業）

1) 大学スポーツとしての普及

大学を拠点とする普及活動では、新規もしくは継続してゲートボールを導入してもらう大学に対し、指導者派遣、活動内容に応じた支援、他大学との交流機会の提供を行い、大学普及の成果を最大化するための事業に取り組んだ。

継続して活動している岩手・山形交流会および岡山3大学交流会については、自立化促進のため大会形式で行った。東北公益文科大学につづき、岩手大学と松本大学にてサークル立ち上げにも成功した。

2023年度ゲートボールの授業・課外活動としての実施大学（10大学）

1	岩手	岩手大学	6	岡山	環太平洋大学
2	山形	東北公益文科大学	7	岡山	美作大学短期大学部
3	長野	松本大学	8	岡山	岡山大学
4	滋賀	びわこ学院大学	9	福岡	北九州市立大学
5	滋賀	立命館大学	10	福岡	福岡県立大学

- 岩手大学（岩手）・東北公益文科大学（山形）・ジュニア（岩手より2チーム）
・岩手県役員チーム（岩手）の5チームによる交流大会（岩手県協会による自主事業）
2023年11月25日（土）・27日（日）岩手県雫石町 雫石町屋内ゲートボール場
- 岡山3大学（環太平洋大学・美作大学・岡山大学）・地元高齢者の4チームによる交流大会
2023年11月26日（日）岡山県和気郡和気町 和気鶴飼谷温泉屋内ゲートボール場

2) 小学校低学年・未就学児向け教育プログラムの開発

筑波大学と小学生を教える現場の教職員との共同研究により作成したイージーゲートボール教材を使用し、全国4地区の小学校で検証授業を行い、その内容や教育的価値を教育関係者に知っていただくところまで到達できた。今後は小学校の学習指導要領へのゲートボール導入を視野に入れることも検討し、加盟団体の協力も得て普及活動を展開する。5年間の研究取りまとめとして「成果報告書」を作成した。

3) ゲームバリエーション（キャンパススポーツ）の研究

新たなファンを獲得するための「ゲームバリエーション」への展開はチャレンジだった。従来の屋外でのゲートボール活動では実践できなかった体験環境や、ヤングファミリーを対象とするため、デジタル機材やデザイン性の高い用具を創造したり、ゲートボールに興味をもってもらうための“話題性”を提供した。

テレビ静岡主催「アウトドアスマイル」（静岡県浜松市）において、キャンプ愛好者を対象とした体験会を実施し、実証研究を行った。

4) 広報戦略の強化

新たなトピックスになり得る事業を実施するとともに、Facebook・X・Instagram・LINE・YouTube等を利用し、加盟団体会員・一般愛好者・新規層に向けて大会情報・普及活動などの情報発信を行った。

YouTubeについては、発信数を増やすことで収益化につなげることができた。

- ① 大型商業施設イオンモール上尾（埼玉県上尾市）内の AGEO PARK にて、ゲートボール体験会を2日間にわたり実施した。1日目230人、2日目174人が体験。
- ② 企業研修（チーム・ビルディング）にて、NTT DATA（株）の社内研修を東京都江東区で実施。26人が参加し、ゲーム形式でチームプレーを体験した。
- ③ 武蔵野大学主催のスポーツ体験イベントにて、日本コーンホール協会と協力し、両競技の体験会を実施。約20人が簡易ルールで体験し好評であった。
- ④ 復興庁主催「ふくしま浜通り復興スポーツフェス」（福島県楡葉町）において、カジュアルゲートボール体験会を実施し、約200人が体験した。

(2) 組織強化〔日本財団助成事業〕

1) 基盤強化、人材育成、ICT環境の整備、マネジメント支援等

① 地方組織の活性化助成事業の実施

地方組織の基盤強化として、17団体が立案した30の普及事業を実施した。

※詳細は（別紙）参照

② 再生プロジェクト全国会議の実施

加盟団体を一堂に集めての全国会議は、「自立するゲートボール組織」をメインテーマとして、2024年3月18日・19日に品川プリンスホテルにて開催した。加盟団体の現状や、普及活動の成功例と失敗例などを議論することで、各加盟団体の今後の活動のヒントとした。

2) 地域再生モデルの推進

実施しなかった。

2. 普及及び振興

(1) 人材育成

全世代型スポーツを目指すためには、ジュニア世代の底辺拡大につながる学校スポーツとしての定着が不可欠であり、その指導には若い指導者が効果的であることから、若手指導者の育成を図った。

1) 学校・地域 スポーツとしての育成

① 全国高等学校ゲートボール選手権大会（スポーツ安全協会助成事業）

高等学校におけるゲートボール活動を活性化するため、リレーション-3（3人制）競技による大会を、11校により開催した。11校中7校が初参加であり、徐々にではあるが、高校への普及が進んでいる。別表第5（24ページ）参照

- ・期 日：2023年12月10日（日）
- ・開 催 地：長野県長野市 北部スポーツ・レクリエーションパーク
- ・主 管：長野県ゲートボール連盟
- ・参 加 数：11校（50名）
- ・成 績：

順 位	学 校 名	加 盟 団 体
優 勝	北海道芽室高等学校	北 海 道
準 優 勝	開成高等学校	東 京
第 3 位	作新学院高等学校	栃 木

② 全国ユースゲートボール連盟への活動支援

ユース世代のプレーヤーで構成し、ユース大会などを企画運営することによりユース世代のネットワーク構築を目的として活動している「全国ユースゲートボール連盟」の新たな活動として、アウトドアフェスにおける普及活動を行った。このことにより、若年層への体験会にはユース世代の指導が効果的であることが実証された。

また、全国高等学校ゲートボール選手権大会において、本部運営・記録映像撮影・審判協力などを行った。若手プレーヤーが運営に参加する経験を積むことにより、将来的には加盟団体の中心として活躍する可能性が見えてきた。

③ 中学校を中心とした部活動地域移行に関する調査・研究・活動支援

文部科学省主催の会議に参加し、全国の取り組み状況の報告を聞いたところ、総合型地域スポーツクラブへのゲートボールの種目参加が重要になってくる見込みであった。

④ 放課後児童クラブに関する調査・研究・活動支援

放課後児童クラブに関しては調査・研究を見送った。

(2) 日本発祥スポーツとしての海外普及（日本財団助成事業）

1) 指導者や審判員等の海外派遣

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止していたゲートボール大会が多くの国で再開した。その調査のため、4か国を訪問し情報収集につとめた。

大会名	開催国	期 日	日本チーム	成績
2023 全羅北道アジア太平洋 マスタースゲームズ・ゲートボール大会	韓国	5月13日～16日	広島（2チーム）	ベスト8
第1回パンアメリカン ゲートボール選手権大会	ブラジル	9月8日～10日	JGU職員	
2023年香港国際ゲートボール大会	香港	12月1日～3日	JGU職員	
第4回タイオープンマスタースゲームズ2024 ゲートボール国際大会	タイ	2月24日～28日	JGU職員	

2) ゲートボール用具や刊行物等の寄贈は見送った。

3. 全日本選手権大会及びその他の競技会の開催

(1) 全国大会の開催（助成事業）

1) 文部科学大臣杯 全日本ゲートボール選手権大会（スポーツ振興基金助成事業）

- ・期 日：2023年10月21日（土）・22日（日）
- ・開 催 地：栃木県さくら市 さくら市総合公園 さくらスタジアム
- ・主 管：栃木県ゲートボール協会
- ・参加チーム：45チーム（276名）
- ・成 績 ※年齢・性別不問

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	十和田西	青 森
準優勝	佐多キング	鹿児島
第3位	広島 楓	広 島
	西海大島	長 崎

2) 全国選抜ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：2023年6月3日（土）・4日（日）
- ・開 催 地：和歌山県和歌山市 紀三井寺公園陸上競技場
- ・主 管：和歌山県ゲートボール協会
- ・参加チーム：87チーム（475名）
- ・成 績 ※65歳以上とする。

※監督の性別は各クラスに適合するものとし年齢は問わない。

男子クラス（45チーム）			女子クラス（42チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	ストロング取手	茨 城	優 勝	虹	大 阪
準優勝	よ り も	大 分	準優勝	かすみチーム	福 井
第3位	嵐 山	京 都	第3位	ひまわり	熊 本
	もりおか木曜クラブ	岩 手		宮城ヴィーナス	宮 城

3) 内閣総理大臣杯 全日本世代交流ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：2023年9月2日（土）・3日（日）
- ・開 催 地：香川県綾歌郡綾川町 綾川町総合運動公園陸上競技場
- ・主 管：香川県ゲートボール連盟
- ・参加チーム：31 チーム（213名）
- ・成 績 ※15歳未満、15歳以上65歳未満、65歳以上の3世代の年齢の選手でチームを構成する。
 ※「文部科学大臣賞」：優勝から第3位までの4チームで年齢差が最も大きいチーム。

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	オーミブラックス	滋 賀
準優勝	賢 慎	神奈川
第3位	わいわいキング	鹿児島
	E・フォース	三 重
文部科学大臣賞	賢 慎	神奈川

4) 全国ジュニアゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：2023年8月5日（土）・6日（日）
- ・開 催 地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
- ・主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ・参加チーム：32 チーム（216名）
- ・成 績 ※ジュニア男子1部クラス・・・15歳以上18歳未満の男子
 ※ジュニア女子1部クラス・・・15歳以上18歳未満の女子
 ※ジュニア2部クラス・・・6歳以上15歳未満、性別不問

ジュニア男子1部クラス（8チーム）			ジュニア女子1部クラス（8チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	開成学園一人	東 京	優 勝	N I C E—K J	鹿児島
準優勝	北海道ベアーズ	北海道	準優勝	作新クラブ	栃 木
第3位	デポルターレ出雲U-18	島 根	第3位	作新フェアリーズ	栃 木
	作新学院	栃 木		もりおか木曜クラブF	岩 手
ジュニア2部クラス（16チーム）					
順位	チーム名	加盟団体			
優 勝	霧島クラブ ジュニア	鹿児島			
準優勝	松阪ジュニア	三 重			
第3位	E・フォース クリアンサス	三 重			
	広島楓キッズ	広 島			

(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への開催支援

1) 地域ゲートボール選手権大会

地域愛好者のゲートボール技能向上、相互交流促進、情報交換を目的に各地域にて開催される地域選手権大会や都道府県大会は下記のとおり開催された。

① 地域選手権大会

地域	開催地	開催日	優勝チーム
北海道	北海道	7月20日・21日	北斗クラブ（北海道）
東北	岩手	7月6日・7日	軽米（岩手）
北信越	長野	6月3日・4日	志水魁（石川）
北関東	埼玉	11月12日・13日	朝霞クラブ（埼玉）
南関東	山梨	3月20日	クレスト（千葉）
東海	三重	10月8日	キャッツ（愛知）
近畿	奈良	9月16日・17日	梅津体振（京都）
中国	島根	9月2日・3日	広島楓（広島）
四国	徳島	5月21日	健祥会C（徳島）
九州	熊本	11月12日	大霧島（鹿児島）

② 地域ジュニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	岩手	11月25日	2	久慈来内ジュニア（岩手）

③ 地域ミドル大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
九州（ミドル）	宮崎	8月25日	13	一心（大分）

④ 地域シニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	宮城	9月9日・10日	18	金田クラブ（宮城）

2) 都道府県ゲートボール大会

日本連合が主催する全国大会の都道府県予選会の実施を依頼した。

4. 国民体育大会の実施

(1) 特別国民体育大会〔公開競技〕ゲートボール競技会

- ・期 日：2023年9月23日（土）・24日（日）
- ・開催地：鹿児島県指宿市 指宿市営陸上競技場
- ・主管：鹿児島県ゲートボール協会
- ・参加チーム：32チーム（209名）
- ・成績 ※ 中学生を含まない2008年4月1日以前に生まれた者。
※ 監督は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ゲートボールコーチ1の有資格者とする。

男子の部 (16 チーム)		女子の部 (16 チーム)	
順位	都道府県	順位	都道府県
第1位	岐阜県	第1位	埼玉県
第2位	鹿児島県	第2位	大阪府
第3位	徳島県	第3位	熊本県

(2) 特別国民体育大会〔公開競技〕ゲートボール競技会 地域予選会

地域	開催地	開催日	参加チーム数		国体参加都道府県	
			男子	女子	男子	女子
北海道	---	---	---	---	北海道	北海道
東北	福島	2022年 7月9日・10日	6	5	岩手・宮城	岩手・山形
北信越	新潟	6月25日	5	5	新潟・福井	福井・新潟
北関東	茨城	3月4日	12	12	埼玉	埼玉
南関東	千葉	2月18日	4	4	東京・山梨	山梨・神奈川
東海	静岡	7月9日	4	4	岐阜	岐阜
近畿	奈良	6月11日	5	5	和歌山・滋賀	大阪・奈良
中国	岡山	6月25日	5	3	島根	広島
四国	徳島	5月14日	5	7	徳島	徳島
九州	大分	2022年 10月9日	7	7	宮崎・大分	福岡・熊本

※北海道は男女とも推薦出場

(3) 2024年度以降の国民スポーツ大会の開催準備

公開競技としてゲートボール競技の実施が確定されている 2024 年以後の国民スポーツ大会に関し、公開競技実施基準の確認や開催準備スケジュール等について、日本スポーツ協会、開催地実行委員会、会場地自治体、開催地加盟団体と協議を行った。

< 第3期 >

< 第4期 >

年	開催地	年	開催地
2024年	佐賀県鳥栖市	2028年	長野県松本市
2025年	滋賀県長浜市	2029年	群馬県太田市
2026年	青森県十和田市	2030年	島根県出雲市
2027年	宮崎県都城市		

5. 国際的競技会の開催準備と代表チームの選考及び派遣、並びに外国チームの招聘

(1) アジアゲートボール選手権大会の開催準備

2024年度開催へと延期となったアジア選手権について、主管の中国門球（ゲートボール）協会と開催準備のための協議を行ったものの、詳細は未定。

(2) 国際大会・交流会への日本チームの派遣（日本財団助成事業）

日本からのチームの申込みはなかった。

(3) ワールドマスターゲームズ2027関西の開催準備

コロナ禍等の影響により、2027年5月に再延期となった大会については会場地自治体等との協議を行った。

6. 競技規則に関すること

世界ゲートボール連合加盟団体を一堂に集めての国際会議が2024年2月7日・8日に実施され、新競技規則施行は2025年以降という計画で進めることで合意となった。

7. 指導者の養成

(1) 指導者研修会の実施（日本財団助成事業）

公認ゲートボール指導者を対象とした加盟団体及び地域協議会が行う指導者研修会に対し支援を行った。

- ・期 日：2023年8月～2024年3月
- ・参加者：公認スポーツ指導者ほか 延べ273名
- ・内 容：指導者として必要と思われる講演・実技・研究協議等
- ・協力講師：消防署、学校教育機関等の有識者による講演

(2) JSP0公認ゲートボール指導者（コーチ1）の養成

公認スポーツ指導者は、日本スポーツ協会が認定する資格であり、資格認定にはスポーツ一般に関する共通科目と競技の専門性などに特化した専門科目をそれぞれ履修しなければならない。

日本連合では、専門科目の履修に関する業務を担当しており、資格取得後の資質向上と資格更新のための更新研修（4年に1回）の受講を奨励している。

※ 詳細は、「公認ゲートボール指導者 養成講習会・更新研修等の実施及び登録者一覧表」（13ページ）参照

1) 専門科目及び準指導員養成講習会の検定試験

加盟団体	開催地	実施期間	合格者
新潟	見附市	2023年9月7日～10月3日	14
山形	酒田市	2023年11月17日～11月19日	13
東京	調布市	2024年1月27日～2月11日	10
合 計			37

2) 準指導員の登録者数

加盟団体	新規登録者数	登録更新者数	資格移行者数	合 計
新潟	14			14
山形	2			2
東京	5			5
合計	21	0	0	21

※ 移行者：日本連合認定準指導員⇒日本スポーツ協会公認スポーツ指導者

3) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の登録者数

2023年度末での公認ゲートボールコーチ1の登録者数は951名となり、前年度から180名の減となった。

公認ゲートボール指導者 養成講習会・更新研修等の実施及び登録者一覧表

2024年3月31日 現在

	養成講習会 修了者数	更新研修 対象参加者数	再登録 申請者数	登 録 者 数	性 別 内 訳	
					男 性	女 性
1 北海道				9	8	1
2 青 森				14	7	7
3 岩 手				20	18	2
4 宮 城				40	24	16
5 秋 田				14	8	6
6 山 形	13			15	10	5
7 福 島		34	1	12	12	0
8 茨 城				18	13	5
9 栃 木		76		18	12	6
10 群 馬				15	8	7
11 埼 玉		58		76	37	39
12 千 葉				18	10	8
13 東 京	10	30		40	26	14
14 神 奈 川				26	13	13
15 新 潟	14	38		84	66	18
16 富 山				13	11	2
17 石 川				6	4	2
18 福 井				32	24	8
19 山 梨				8	7	1
20 長 野				131	94	37
21 岐 阜				7	2	5
22 静 岡				3	1	2
23 愛 知				11	9	2
24 三 重				28	18	10
25 滋 賀				31	22	9
26 京 都				34	23	11
27 大 阪				11	2	9
28 兵 庫				5	2	3
29 奈 良				12	8	4
30 和 歌 山				9	7	2
31 鳥 取				8	7	1
32 鳥 根				15	13	2
33 岡 山		19		30	22	8
34 広 島				11	6	5
35 山 口				5	4	1
36 徳 島		18		19	15	4
37 香 川				27	17	10
38 愛 媛				2	1	1
39 高 知				1	1	0
40 福 岡				11	7	4
41 佐 賀				11	6	5
42 長 崎				13	11	2
43 熊 本				4	2	2
44 大 分				8	3	5
45 宮 崎				2	0	2
46 鹿 児 島				11	8	3
47 沖 縄				13	11	2
合 計	37	273	1	951	640	311
前年度計	29	213	0	1,129	768	361
増 減	8	60	1	△ 178	△ 128	△ 50

8. 審判員の養成及び認定

(1) 審判員資格の試験、登録、並びに登録更新の実施

加盟団体の協力を得て、各級の審判員資格試験、資格登録並びに登録更新のための講習会等を実施した。

1) 受験者数及び合格者数

受験者数は1,282名となり、前年度1,196名から86名の増となった。

級	受験者	合格者	備考
1 級	110	108	28加盟団体で実施
2 級	212	209	32加盟団体で実施
3 級	960	956	43加盟団体で実施
合計	1,282	1,273	

※ 詳細は「審判員資格試験実施結果一覧表」（16ページ）参照

2) 新規登録者数及び登録更新者数

登録更新者数は10,953名となり、前年度12,431名から1,478名の減となった。

級	新規登録者	登録更新者	合計
1 級	108	2,401	2,509
2 級	209	2,253	2,462
3 級	956	6,299	7,255
合計	1,273	10,953	12,226

※ 詳細は「審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表」（17ページ）参照

3) 登録料免除対象者

ジュニア・ユース世代に対する資格取得の促進のため、登録時25歳以下の者、または登録時に所定の学校に生徒として在籍している者を対象に、登録料の免除を行った。

対象登録者	1 級	2 級	3 級	合計
10加盟団体	1	4	43	48

4) 永年審判員登録者数

85歳以上の審判員を対象とした永年審判員の登録を実施した。

	1 級	2 級	3 級	合計
新規登録者	1		1	2

※ 永年審判員の登録者数は「審判員級別一覧表」（18ページ）参照

(2) 国際審判員資格の試験、登録、並びに登録更新の実施

国際審判員に関する資格試験・登録、登録更新を実施した。

加盟団体	受験者数	合格者数	新規登録者数	登録更新者数
千 葉				7
東 京				4
神 奈 川				1
新 潟				1
鹿 児 島				1
合 計				14

※ 国際審判員の登録者数は「審判員級別一覧表」（18 ページ）参照

(3) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）

本年度の全国大会等の開催団体を対象に 12 回の実施を計画した。鹿児島県と愛媛県の 1 回目は審判員の交通手段を考慮し分散開催とした。

「審判研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実施日	参加者数
栃木県	さくらスタジアム	2023年 8 月 27 日	87名
	さくら市総合運動公園	2023年 9 月 9 日	106名
香川県	すばーく国分寺	2023年 4 月 9 日	78名
	綾川町総合運動公園陸上競技場	2023年 6 月 6 日	78名
和歌山県	秋葉多目的スポーツ施設	2023年 5 月 12 日	65名
		2023年 5 月 23 日	64名
埼玉県	彩の国熊谷ドーム	2023年 7 月 16 日	82名
		2023年 7 月 23 日	85名
鹿児島県	山川福祉センター	2023年 5 月 14 日	45名
	南九州市知覧平和公園ゲートボール場	2023年 6 月 3 日	31名
	鹿児島市ふれあいスポーツランド	2023年 6 月 30 日	26名
	指宿市営陸上競技場	2023年 7 月 30 日	78名
愛媛県	波止浜興産ゲートボール場	2023年 9 月 8 日	23名
	竹原コート	2023年 9 月 17 日	26名
	肱南ピクニックランド（肱南緑地）	2023年 9 月 25 日	9名
	東温市総合公園多目的広場	2023年 10 月 1 日	80名
合 計			963名

※鹿児島県の 1 回目は 3 会場での分散開催

※愛媛県の 1 回目は 3 会場での分散開催

審判員資格試験実施結果一覧表

2024年3月31日 現在

	1 級			2 級			3 級	
	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	合格者数
1 北海道	4		4	6		6	39	39
2 青森	3		3	6		6	16	16
3 岩手	1		1	1		1	18	18
4 宮城							21	21
5 秋田	3		3	1		1	1	1
6 山形	2		2	3		3	5	5
7 福島	2		2	7		7	52	52
8 茨城	2		2	9		9	8	8
9 栃木	9		9	4		4	21	21
10 群馬							7	7
11 埼玉	1		1	8		8	11	11
12 千葉							9	11
13 東京	11		11	9		9	65	64
14 神奈川	1	1	2	2		1	20	20
15 新潟	6		6	26		26	65	65
16 富山	4		4	8		8	13	13
17 石川								
18 福井								
19 山梨	12		10	19		19	45	45
20 長野	11		11	12		12	67	67
21 岐阜	8		8	6		6	24	24
22 静岡				1		1	11	11
23 愛知							23	23
24 三重	2		2	3		3	10	10
25 滋賀				7		7	25	21
26 京都	4		4	11		9	13	13
27 大阪	2		2	5		5	26	26
28 兵庫								
29 奈良	4		4	6		6	27	26
30 和歌山				1		1	2	2
31 鳥取	2		2	2		2	10	10
32 島根							29	29
33 岡山	2		2	1		1	3	3
34 広島	2		2	7		7	7	7
35 山口	3		3	5		5	4	4
36 徳島							21	21
37 香川							10	10
38 愛媛				10		10	15	15
39 高知								
40 福岡							5	5
41 佐賀	4		4	10		10	47	47
42 長崎	1		1	12		12	43	43
43 熊本							37	37
44 大分	1		1	2		2	22	22
45 宮崎							1	1
46 鹿児島	2		2	2		2	39	39
47 沖縄							23	23
合計	109	1	108	212	0	209	960	956
前年度計	129	0	129	222	0	222	845	834
増減	△ 20	1	△ 21	△ 10	0	△ 13	115	122

審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表

2024年3月31日 現在

		新規登録者数				登録更新者数				合計
		1級	2級	3級	小計	1級	2級	3級	小計	
1	北海道	4	6	39	49	72	54	121	247	296
2	青森	3	6	16	25	13	16	71	100	125
3	岩手	1	1	18	20	63	50	233	346	366
4	宮城	0	0	21	21	59	21	123	203	224
5	秋田	3	1	1	5	9	6	25	40	45
6	山形	2	3	5	10	19	19	53	91	101
7	福島	2	7	52	61	36	80	281	397	458
8	茨城	2	9	8	19	49	25	64	138	157
9	栃木	9	4	21	34	46	19	87	152	186
10	群馬	0	0	7	7	45	13	92	150	157
11	埼玉	1	8	11	20	58	27	159	244	264
12	千葉	0	0	11	11	63	65	98	226	237
13	東京	11	9	64	84	88	68	229	385	469
14	神奈川	2	1	20	23	48	50	251	349	372
15	新潟	6	26	65	97	115	110	415	640	737
16	富山	4	8	13	25	58	51	85	194	219
17	石川	0	0	0	0	96	85	85	266	266
18	福井	0	0	0	0	112	98	108	318	318
19	山梨	10	19	45	74	54	74	301	429	503
20	長野	11	12	67	90	201	153	356	710	800
21	岐阜	8	6	24	38	90	53	141	284	322
22	静岡	0	1	11	12	45	24	101	170	182
23	愛知	0	0	23	23	70	100	221	391	414
24	三重	2	3	10	15	28	33	107	168	183
25	滋賀	0	7	21	28	71	141	298	510	538
26	京都	4	9	13	26	83	82	202	367	393
27	大阪	2	5	26	33	86	80	276	442	475
28	兵庫	0	0	0	0	37	21	39	97	97
29	奈良	4	6	26	36	62	46	131	239	275
30	和歌山	0	1	2	3	9	30	65	104	107
31	鳥取	2	2	10	14	18	14	10	42	56
32	島根	0	0	29	29	68	59	172	299	328
33	岡山	2	1	3	6	38	31	105	174	180
34	広島	2	7	7	16	91	47	94	232	248
35	山口	3	5	4	12	4	3	4	11	23
36	徳島	0	0	21	21	22	26	57	105	126
37	香川	0	0	10	10	35	25	71	131	141
38	愛媛	0	10	15	25	36	31	112	179	204
39	高知	0	0	0	0	7	3	5	15	15
40	福岡	0	0	5	5	13	38	21	72	77
41	佐賀	4	10	47	61	29	34	68	131	192
42	長崎	1	12	43	56	39	75	163	277	333
43	熊本	0	0	37	37	11	28	61	100	137
44	大分	1	2	22	25	7	2	33	42	67
45	宮崎	0	0	1	1	17	17	48	82	83
46	鹿児島	2	2	39	43	72	109	350	531	574
47	沖縄	0	0	23	23	9	17	107	133	156
合計		108	209	956	1,273	2,401	2,253	6,299	10,953	12,226
前年度計		129	222	845	1,196	2,773	2,306	7,352	12,431	13,627
増減		△ 21	△ 13	111	77	△ 372	△ 53	△ 1,053	△ 1,478	△ 1,401

審判員級別一覧表

2024年3月31日 現在

	1 級	2 級	3 級	小 計	永 年 審 判 員				国 際 審 判 員
					1 級	2 級	3 級	小 計	
1 北 海 道	128	124	331	583	10	9	6	25	
2 青 森	20	38	149	207	2	2		4	1
3 岩 手	130	121	599	850	6	2		8	
4 宮 城	106	48	282	436	25	23	34	82	1
5 秋 田	30	20	62	112	2		1	3	
6 山 形	99	70	97	266	3	1		4	
7 福 島	94	133	552	779	7			7	
8 茨 城	100	87	222	409	1			1	
9 栃 木	100	72	242	414	2			2	
10 群 馬	100	46	112	258					
11 埼 玉	169	80	373	622	3	1		4	
12 千 葉	56	55	78	189	3	2		5	7
13 東 京	163	145	555	863	5	6		11	15
14 神 奈 川	135	123	500	758	14	4	1	19	4
15 新 潟	287	323	1,034	1,644	3	1		4	24
16 富 山	137	122	178	437	4		1	5	2
17 石 川	141	140	132	413					
18 福 井	206	183	266	655	1			1	
19 山 梨	109	113	645	867	1		1	2	
20 長 野	459	330	849	1,638	2			2	
21 岐 阜	173	113	310	596	2	5	2	9	
22 静 岡	70	51	235	356	4	2	1	7	
23 愛 知	146	101	524	771	11	1		12	1
24 三 重	85	88	273	446	1	1		2	1
25 滋 賀	157	259	745	1,161	9	4	2	15	1
26 京 都	182	182	462	826	3	1	1	5	
27 大 阪	93	82	326	501	6	4		10	
28 兵 庫	53	45	88	186					
29 奈 良	103	77	272	452	1		1	2	
30 和 歌 山	55	75	148	278	1	4	5	10	7
31 鳥 取	52	26	36	114					1
32 島 根	82	70	266	418					
33 岡 山	97	60	244	401	4			4	1
34 広 島	169	108	270	547	6	4	2	12	3
35 山 口	21	30	24	75					
36 徳 島	53	57	172	282	2		2	4	4
37 香 川	97	66	172	335					2
38 愛 媛	56	59	240	355	9	1	7	17	
39 高 知	16	17	20	53	3			3	
40 福 岡	28	23	57	108	1	1		2	
41 佐 賀	77	66	279	422	1			1	
42 長 崎	89	135	448	672	8			8	
43 熊 本	13	27	110	150	1	1	1	3	1
44 大 分	49	93	363	505					
45 宮 崎	40	33	112	185	2	1		3	
46 鹿 児 島	158	167	851	1,176	2	3	1	6	1
47 沖 縄	33	34	285	352					
合 計	5,016	4,517	14,590	24,123	171	84	69	324	77
前年度計	5,561	4,956	16,798	27,315	170	84	68	322	81
増 減	△ 545	△ 439	△ 2,208	△ 3,192	1	0	1	2	△ 4

9. ゲートボール器具・用具の研究開発及び認定

競技を公正・安全に行うことを目的とした用具の認定基準に則り、第三者機関の安全検査に合格したゲートボール用具を認定する契約を8社と締結し、認定スティックへの認定証紙（シール）の貼付、認定ボールへの刻印を認めた。

10. ゲートボールに関する刊行物の発行

各種の普及活動を効果的に展開するため、パンフレット等を作成・配布した。

1) 「ゲートボール Navi2023」の作成配布（スポーツ振興くじ助成事業）

ゲートボール情報誌を発行し、ホームページを閲覧する環境にない会員にも広く情報を提供するとともに、日本連合のホームページにも掲載して自由に閲覧できるように設定した。

- ・名称等：ゲートボール Navi2023 年度号（A4 縦版、カラー、本文 36 ページ）
- ・発行日：2024 年 3 月
- ・発行数：36,500 部
- ・配付先：事故防止事業対象者ほか

2) 「ゲートボール TEXT2023」の作成配布（スポーツ振興くじ助成事業）

テキストを発行（隔年発行）し、各種講習の補助教材として活用するとともに、日本連合のホームページにも掲載して自由に閲覧できるように設定した。

- ・名称等：ゲートボール TEXT2023（A4 縦版、カラー、本文 16 ページ）
- ・発行日：2023 年 5 月
- ・発行数：32,000 部
- ・配付先：各加盟団体

11. 功労者等の表彰

ゲートボールの普及発展に顕著な功績のあった方（ゲートボール功労者）、ゲートボールを通じて永年健康保持に努められた方（健康功労者）、10年以上審判員登録し功労のあった方（審判員功労者）を、表彰規程に基づき、加盟団体の推薦により表彰した。

- | | |
|--------------|-------|
| 1) ゲートボール功労賞 | 41 名 |
| 2) 健康功労賞 | 141 名 |
| 3) 審判功労賞 | 87 名 |

12. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 各種ゲートボール大会への後援協力等

(2) ゲートボール活動における事故予防・防止に向けた啓発活動等

誰もが安全にゲートボールを楽しむことができるよう、競技会等での事故や傷病の事例を収集し、ゲートボール活動における事故防止や予防に向けた啓発に努めた。

また、事故にあった会員に対し見舞金を支給した。

2023年度の事故防止事業対象者は33,517名となり、前年度と比較して5,147名減少した。

また見舞金支給件数は前年比1件の減少となった。

※詳細は「事故防止事業対象者数及び事故発生状況一覧表」（21 ページ）参照

① 年度別事故防止事業運営実績一覧

年 度	対象者数	支給件数	通 院	入 院	死 亡	見舞金支給額(円)
2012年度	117,472	125	67	50	8	5,975,000
2013年度	106,633	106	53	49	4	5,545,000
2014年度	97,493	85	39	40	6	4,295,000
2015年度	89,837	81	43	34	4	3,900,000
2016年度	80,731	82	39	41	2	4,200,000
2017年度	71,993	68	27	35	6	3,715,000
2018年度	65,603	63	25	33	5	3,340,000
2019年度	58,769	48	16	26	6	2,700,000
2020年度	50,807	23	8	13	2	1,360,000
2021年度	44,726	30	13	12	5	1,675,000
2022年度	38,664	31	10	19	2	1,810,000
2023年度	33,517	30	14	15	1	1,550,000

② ランク別傷病件数

傷病	Aランク			Bランク			Cランク			合 計			
	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	計
捻挫・脱臼	3									3			3
創 傷													
挫傷・打撲	2	1								2	1		3
骨 折	5	8					4	2		9	10		19
心臓器障害						1						1	1
脳疾患					3			1			4		4
熱中症													
その他													
合計	10	9			3	1	4	3		14	15	1	30

注) 本事業への登録者が、日本連合、加盟団体または加盟団体傘下の団体等が主催（共催）・主管・後援するゲートボール競技大会及びゲートボールに関する講習会・研修会等において事故にあったときは、次のランクに基づき、見舞金を支給する。

Aランク・・・参加中に発生した傷害事故

Bランク・・・参加中に発生した日射病・熱射病、疾病（既往症）、脳疾患や心神喪失など

Cランク・・・参加のための、自宅と目的地の往復路であった事故

事故防止事業対象者数及び事故発生状況一覧表

2024年3月31日 現在

	対象者数	支給件数	Aランク	Bランク	Cランク	通院	入院	死亡	見舞金 支給額
1	北海道	249	1			1			55,000
2	青森	276							
3	岩手	1,077							
4	宮城	794							
5	秋田	173							
6	山形	397	2	1	1	2			40,000
7	福島	1,136	1	1		1			15,000
8	茨城	479							
9	栃木	681	1	1		1			15,000
10	群馬	660							
11	埼玉	1,099							
12	千葉	500							
13	東京	1,507	3	1	2	2	1		130,000
14	神奈川	1,146							
15	新潟	2,434	1	1			1		80,000
16	富山	654							
17	石川	314							
18	福井	954							
19	山梨	1,356	2	2		1	1		70,000
20	長野	1,865	1	1			1		80,000
21	岐阜	954	1	1			1		100,000
22	静岡	512							
23	愛知	490	1	1			1		80,000
24	三重	723	1		1		1		45,000
25	滋賀	1,594	1	1		1			35,000
26	京都	1,058	1		1		1		55,000
27	大阪	1,157	2	1	1	1	1		60,000
28	兵庫	425							
29	奈良	549	1	1			1		100,000
30	和歌山	309							
31	鳥取	116							
32	島根	1,136							
33	岡山	476							
34	広島	717	2	2		1	1		155,000
35	山口	189							
36	徳島	233							
37	香川	319	2	2		1	1		95,000
38	愛媛	366	2	1	1	1	1		70,000
39	高知	73							
40	福岡	152							
41	佐賀	526	2	2		1	1		70,000
42	長崎	926							
43	熊本	597	1	1				1	100,000
44	大分	399							
45	宮崎	144							
46	鹿児島	951	1	1			1		100,000
47	沖縄	675							
合計	33,517	30	19	4	7	14	15	1	1,550,000

(3) アンチ・ドーピング教育・啓発活動

- ① 全日本選手権大会出場選手への関連資料の配布及びeラーニング受講への取組みについては実施しなかった。
- ② 日本連合主催全国大会における競技プログラム等の理念広告の掲載
- ③ 日本連合主催全国大会における横断幕の掲示

(4) 広報

スマートフォンにも対応した公式ホームページ及び、Facebook、Twitter、Instagram、YouTube、LINE等のSNSにてゲートボールに関する情報を動画と画像で提供した。

(5) 会員データシステムの整備

日本連合が管理・運用している審判員、事故防止事業対象者等の名簿データの一元化による日本連合と加盟団体の事務の効率化を図るため、外部業者に委託し、加盟団体の意見を徴しながらシステム構築、データ整備を進め、順次利用加盟団体を拡大した(2023年3月31日現在で42加盟団体が利用)。

(6) 寄付金・賛助金及び協賛企業等の募集

日本連合の諸事業の一層の充実と発展を図るため、寄付金・賛助金及び協賛企業等を募集した。

1) 賛助会員 (13社: 2024年3月31日現在)

会社名	所在地
株式会社ニチヨー	栃木県足利市
株式会社サンシャインスポーツ	長野県松本市
株式会社シャトル	福井県越前市
株式会社本郷	広島県廿日市市
株式会社サンラッキー	大阪府大阪市
株式会社ティエヌケイ	埼玉県川越市
羽立工業株式会社	静岡県湖西市
井上工業株式会社	兵庫県加東市
株式会社天賞堂	東京都中央区
株式会社かいせい	東京都港区
株式会社アオイススポーツ企画	東京都稲城市
東洋物産株式会社	東京都杉並区
株式会社日本出版制作センター	東京都千代田区

2) 大会協賛企業 (1社)

山崎製パン株式会社

3) 寄付金 (1件)

① 一般寄付

香川県綾歌郡綾川町より、総額5,000円の寄付があり、日本連合が実施するゲートボール普及事業に充当した。

「令和6年能登半島地震」発生に伴う寄付金の募集を行った。

(7) 国際ゲートボール組織の事務局業務の受託

【参考：各種名簿等】

2024年3月31日現在

別表第1 評議員：2024年度定時評議員会終結時まで 任期4年（8名以上15名以内）

氏名	所属・役職	備考
上治丈太郎	一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 理事	
久米信行	久米繊維工業株式会社 取締役相談役	
小高幹雄	一般財団法人BOATRACE振興会 会長	
児玉義人	鹿児島県ゲートボール協会 会長	
下光輝一	公益財団法人健康・体力づくり事業財団 理事長	
花岡伸和	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 副理事長	
前田 晃	公益財団法人日本財団 専務理事	
松尾哲矢	立教大学 コミュニティ福祉学部 教授	
丸山実子	時事通信社 社長室総務兼経営企画部長	
望月美佐緒	株式会社ルネサンス 取締役副社長執行役員	
若林静子	元一般財団法人新潟県ゲートボール連盟 理事長	

別表第2 理事：2024年度定時評議員会終結時まで 任期2年（8名以上15名以内）

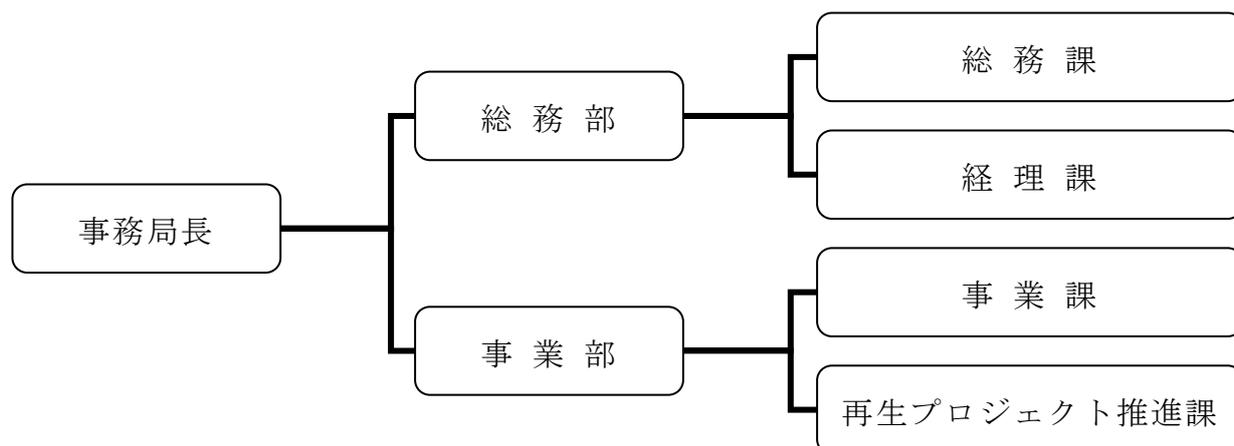
氏名	所属・役職	備考
今川啓一	公益財団法人日本ゲートボール連合 専務理事	代表理事
小山さなえ	山梨学院大学 スポーツ科学部 教授	
三遊亭好の助	落語家	
菅原悟志	公益財団法人B&G財団 理事長	
栩野一美	和歌山県ゲートボール協会 事務局長	
中村太一	徳島県ゲートボール協会 会長	
野上 順	公益財団法人日本ゲートボール連合 常務理事	業務執行理事
花田 惇	学校法人青森山田学園 青森山田高等学校 校長	
村上英人	宮城県蔵王町長	
渡辺恵理	フリーアナウンサー	
渡邊一利	公益財団法人笹川スポーツ財団 理事長	

別表第3 監事：2024年度定時評議員会終結時まで 任期2年（2名以内）

氏名	所属・役職	備考
金子 明	一般財団法人日本財団母乳バンク 総務部ディレクター	
菅井明則	公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター 常務理事	

別表第4 事務局組織図

2024年3月31日現在



別表第5 2023年度 日本連合主催全国大会等

(1)	文部科学大臣杯 第39回全日本ゲートボール選手権大会	スポーツ振興基金助成事業
	栃木県さくら市	2023年10月21日(土)・22日(日)
(2)	第38回全国選抜ゲートボール大会	日本財団助成事業
	和歌山県和歌山市	2023年6月3日(土)・4日(日)
(3)	内閣総理大臣杯 第40回全日本世代交流ゲートボール大会	日本財団助成事業
	香川県綾川町	2023年9月2日(土)・3日(日)
(4)	第28回全国ジュニアゲートボール大会	日本財団助成事業
	埼玉県熊谷市	2023年8月5日(土)・6日(日)
(5)	2023年全国高等学校ゲートボール選手権大会	スポーツ安全協会助成事業
	長野県長野市	2023年12月10日(日)
(6)	特別国民スポーツ大会〔公開競技〕燃ゆる感動かごしま国体	自主事業
	鹿児島県指宿市	2023年9月22日(金)～24日(日)

2023年度事業報告における附属明細書

2023 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

2024 年 5 月 20 日

公益財団法人日本ゲートボール連合

前記のとおり相違ありません。

2024年5月20日

公益財団法人日本ゲートボール連合

専務理事 今川啓一

2023年度の事業報告書を監査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

2024年5月23日

監事 金子明

監事 菅井明則